

第1章 計画策定の背景と趣旨

1 計画策定の背景

勝山市では、令和3年度(2021)を目標年次とした「第5次勝山市総合計画」に基づき「ジオパーク[※]の魅力を活かしたふるさとルネッサンス[※]の実現」に向け、様々なまちづくりの取り組みを進めてきました。

この間、市民と一体となった持続可能なまちづくりを進め、多方面にわたる成果をあげてきました。また平成29年度(2017)には中部縦貫自動車道永平寺大野道路が開通、令和2年度(2020)には道の駅「恐竜渓谷かつやま」がオープンしました。このような中、福井県立恐竜博物館や白山平泉寺、ゆめおーれ勝山、スキージャム勝山などの観光資源を生かして、観光の産業化に取り組んできました。

一方、日本全体で急速に進行する人口減少・少子高齢化は歯止めがかからず、高度経済成長期に整備したインフラや公共施設の老朽化、類を見ない速度で進むデジタル技術の高度化、全国各地で頻発する大規模災害、脱炭素[※]を中心とした環境保全意識の高まり、そして新型コロナウイルス感染症をはじめとした新たな社会的脅威など、社会経済情勢も大きく変化し、市民の暮らしにも様々な影響が生じています。

このような情勢の中、北陸新幹線福井・敦賀開業および中部縦貫自動車道県内全線開通による人・モノの新たな流れを捉え、勝山市の強みである恐竜やジオパークを生かしたまちづくりを進めるとともに、社会・経済の動きや市を取り巻く環境の変化に対応しながら、安全安心を基本とした足腰の強いまちをつくる必要があります。

2 計画の趣旨

第6次勝山市総合計画は、このような社会経済情勢の中、市を取り巻く様々な課題に対応し、10年後のまちの姿の実現に向けた、まちづくりの指針となる計画です。

本計画では、市民、企業、行政などが一体となって、これまでのまちづくりで積み上げてきた成果を生かすとともに、新しい視点をもったまちづくりを実践します。



「総合計画」って何??



総合計画とは、**市政運営の基本**となる、**最上位計画**のことです。

勝山市の未来をより良くするため、目指すまちの姿や、その取り組みをまとめた計画で、各政策を進めるための**道標**となるものです。

第6次総合計画は、
今後10年間のまちづくりの指針！

これまでの総合計画

勝山市建設計画書

昭和 36 年～昭和 47 年

総合振興計画

昭和 48 年～昭和 56 年

新総合振興計画

昭和 57 年～平成 02 年

第3次総合振興計画

平成 03 年～平成 12 年

第4次総合計画

平成 13 年～平成 22 年

第5次総合計画

平成 23 年～令和 03 年